

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	都市の公共政策と法制度
担当教員名	明石達生
単位数(コマ数)	2単位 (16コマ)
講義曜日・時限	水曜日 7 限 (一部 6・7 限)
講義目的	この講義は、現代日本における都市政策のポジションと、その実現手段となる法と行政制度について、これらを論ずる際に必要となる基本知識とものの考え方をひとつと理解し、併せて今日の問題を幅広い視野から筋道立てて論ずるための背景知識を獲得することを目的とする。講義では、政策・制度の表面的な知識ではなく、それらを成り立たせている根源的な理屈を中心に説明することとしており、聴講生はこれを聴きながら社会制度のあり方に関する自分自身の考えを深めるとともに、短時間ではあるが講義後の受講生と教員との討論を通じて政策・制度のあり方と変更提案の方向性を検討し、知識と論理に裏打ちされた各人独自の視座による政策提案力の形成を目指す。
成績評価方法	出席点とレポートによる。

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	10月8日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	都市計画の提案制度
2	10月15日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	都市農地をどう見るか？
3	10月22日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	建築基準法集団規定の本質
4	10月29日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	地区計画の活用技術
5	11月5日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	「地」と「図」の都市計画
6	11月12日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	(トピックス) 神宮外苑再開発を考える
7	11月19日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	建築紛争と景観論争
8	11月26日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	住宅セーフティネット
9	12月3日	6・7 限			応用都市空間政策論第3 (脱炭素論)
10	12月10日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	気候変動と都市・建築行政 (6 限の授業と合同)
11	12月17日	6・7 限	岸井隆幸	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	東京の都市再構築～渋谷再開発を中心に～
12	1月7日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	都市計画と地方自治
13	1月14日	7 限	町田裕彦	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	PPP/PFIの最先端
14	1月21日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	受講生有志の皆さんを講師とする回
15	1月28日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	コンパクトシティの次のステップ
16	2月4日	7 限	明石達生	ハイブリッド (できる限り対面を希望)	都市・まちづくり政策の展望